

【7月上旬刊行】



四六判上製 430頁 本体3,200円
ISBN: 978-4-905497-97-4

戦後の混乱期に厚相、文相、農相等を務め、1959年には自民党総裁選にも立候補した“党人政治家”松村謙三の自伝『三代回顧録』（東洋経済新報社、1964年）が、今よみがえる！

松村謙三 三代回顧録

松村謙三 著 武田知己 編

【著者】松村 謙三（まつむら・けんぞう）
1883（明治16）年、富山県生まれ。早稲田大学政治経済学科卒業後、報知新聞社入社。1917年に福光町会議員、1919年に県会議員となり、1928年に第16回衆議院議員総選挙（第1回普通選挙）で当選。戦前は立憲民政党に所属して衆議院選挙で連続6回当選。戦後は、戦後いったん公職追放になるものの、追放解除後に改進黨から自由民主党に所属して衆議院選挙で連続7回当選、合計13回の当選を果たした。厚生大臣、農林大臣、文部大臣を歴任。1971年8月21日、88歳で逝去。

【編者】武田 知己（たけだ・ともき）
大東文化大学法学部教授
2000年東京都立大学大学院社会科学部博士課程中途退学、博士（政治学）
【主要業績】
『重光葵と戦後政治』（吉川弘文館、2002年）、『日本政党史』（共編、吉川弘文館、2011年）など。

【目次】

- 第1章 生い立ち、早稲田遊学
- 第2章 新聞記者時代
- 第3章 大隈侯の思い出
- 第4章 政界へ
- 第5章 浜口内閣から斎藤内閣まで
- 第6章 動乱の時代、そして終戦
- 第7章 占領から復興時代へ
- 第8章 追放、再び政界へ
- 第9章 先人、盟友をしのぶ
- 解説 (武田知己)

吉田書店 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-9-6 東西館ビル本館 32 Tel.03-6272-9172

ご注文は株式会社JRCへ Tel.03-5283-2230

FAX: 03-3294-2177

書店印	ご注文	吉田書店発行	松村謙三著、武田知己編	本体 3,200円 +税
	冊	松村謙三 三代回顧録		
		ISBN: 978-4-905497-97-4		